

手引き①

☆音読をして言葉のリズムや美しさを味わおう

学びの道すじ

一、「音読」をして言葉の力をつけよう

「音読」とは声を出して読むことです。文章を音読すると日本語のリズムを感じ取ることが出来ます。また、自分が文章の内容を理解しているかどうかも確かめることができます。内容を理解していないと言葉の句切りや間のとり方が分からないからです。一日十分ぐらいの音読の習慣を身に付けて言葉の力を高めましょう。

二、音読、の種類……朗読、暗唱

「音読」にはいくつかの種類があります。一般に声を出して読むことを「音読」と言い、聞き手に内容がよく伝わるように、読む速さや、間、声の調子などを工夫して読むことを「朗読」と言います。また、文章を覚えて何も見ないで音読することを「暗唱」と言います。朗読や暗唱にも挑戦して日本語の美しさや文学作品の魅力を味わいましょう。

朗読…聞き手に内容がよく伝わるように、読む速さや、間、声の調子などを工夫して読むこと。

音読すると言葉のリズムを味わうことができます。また、自分が書かれた文章の内容を理解しているかが確かめられます。
日本語の美しさや文学作品の魅力を味わうことができます。言葉も心も豊かになります。

◆音読の学習プリントの使い方

- ① 大きな声で、はっきりと声に出して読みます。
- ② 作品の口語訳や解説を読んで、イメージをふくらませます。
- ③ イメージを思い浮かべながら音読します。
- ④ ①②③を繰り返します。
- ⑤ 読んだ回数のに色をぬったり、に回数を書きこんだりします。
- ⑥ 朗読できるようにしたらに色をぬりましょう。
- ⑦ 暗唱できるようにしたらに色をぬりましょう。
- ⑧ 折に触れて音読して日本語のリズムや美しさを味わいましょう。

